

ねがいのいえニュース 第69号

社会福祉法人ねがいの杜 広報紙・2024年4月15日発行

発行責任者：藤本真二 さいたま市西区宮前町812-2

Tel (048) 626-1909 Fax (048) 626-1920

E-mail info@negainoie.ne.jp Hp <http://www.negainoie.com>



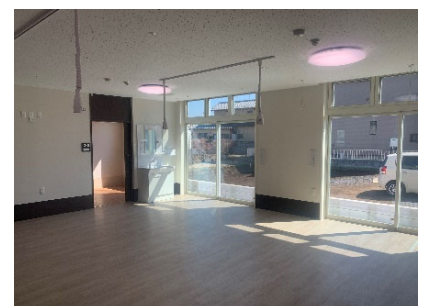
世界は苦難の日々を過ごしている人々があふれる中、それでも、新しい年度はいつもと同じようにやって来ます。みなさまお元気でお過ごしですか？

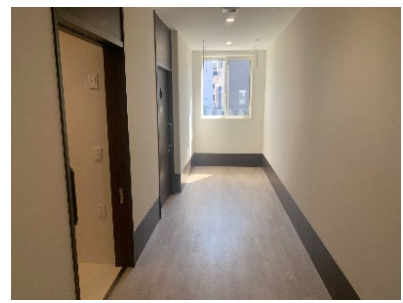
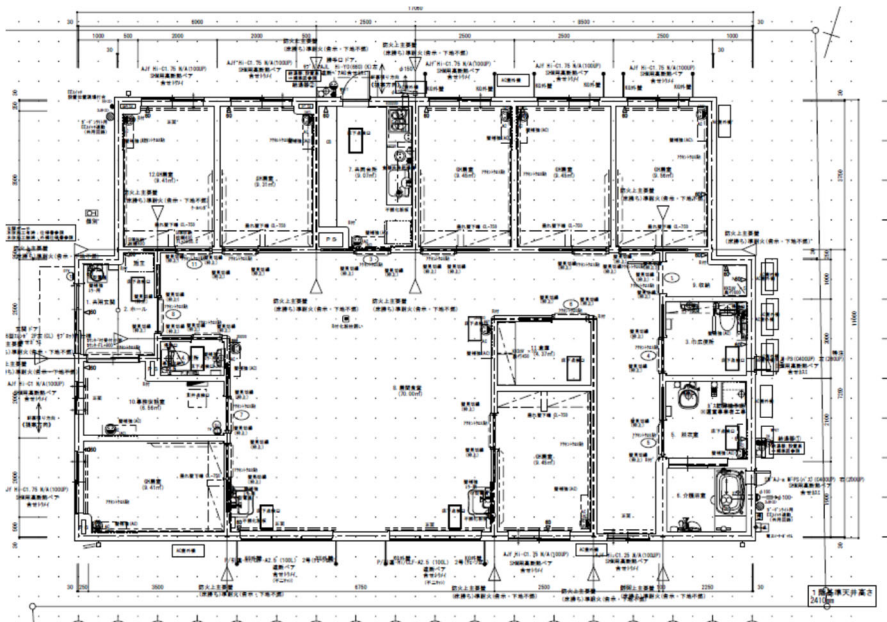
被災された方たちの支援に飛んで行きたいという思いを抱えながらも、毎日利用される方への支援を絶やすわけにいかず、また、人員派遣によって通常のサービス提供を減らせば経営的にも支障をきたします。迅速に被災地に駆けつける先駆的な方たちはどのようにされているのか、ご教示いただきたいといつも思いながら、日々の業務に追われる毎日です。

グループホームげんきそう完成

ねがいの杜の新しいグループホームげんきそうが3月に完成し、引き渡しを受けました。強度行動障害の方、身体的に重度障害の方、さらには医療的ケアの必要な方など、他団体で断られることの多い利用者ばかりを受け入れてきたねがいの杜のグループホームもこれで5軒目となり、ショートステイを含めると毎日40人以上の夜間ケアが実現します。

そして5軒目に至って、今まででベストの設計が実現し、重度障害の方を安心して見守るホームの理想形にたどり着いたと感じています。入居者はすでに決まっているため新規の利用希望は受付できませんが、重度者向けホームを必要としているみなさまの参考になるよう、内覧会を開催します。多くのご家族や事業者にお越しいただけたら幸いです。お待ちしております。





なぜできるのか？

受け入れ施設を見つけられずに困っている強度行動障害の方は全国に数多くいらっしゃり、対応に苦慮している施設職員や当事者家族から、相談のメールや電話が日々届きます。その全ての方が、近くだったらねがいの杜を頼りたいとおっしゃいます。そしてよく聞かれるのが、「他の団体では重い障害の方のグループホームはなかなかやってくれないのに、なぜねがいの杜ではできるんですか？」という質問です。

答えはシンプルです。それは、「目指したから」です。利用者みなさまと出会った時から、将来どのように暮らすのか、どのように生きるのか、常にイメージしています。ご家族が耐えきれないほどのアクシデントを抱える前から準備し、その時を迎えた日には入居できる準備を整えておくから、なのです。それは、ご家族が倒れるのが先か、支援を用意できるのが先かのせめぎ合いでもあり、その準備はいつも間に合うとは限りません。

夜間支援で重度な方ばかりを受け入れれば、当然、経営は安泰というわけにはいきません。医療的ケアの方や夜中でも暴れる方が暮らすホームは、基準よりも手厚い人員が必要です。夜間支援で発生する赤字は日中系のサービスで埋めなければならないので、入居定員の拡大とともに日中サービスの拡大も並行して整備していきます。

それを実現している法人がここにあるということは、誰でもできるはずなのです。全ての方が、全国どの地域であろうと、困った時にすぐに必要な支援が受けられることを願ってやみません。

寄付のお願い

社会福祉法人になり、寄付していただいた方へ所得控除という優遇が適用されることになりました。今後、より優遇率の高い税額控除の対象法人になるため、毎年、1口3千円の寄付を100名以上からいただくのが目標です。ご協力よろしくお願いします。振込口座は以下の通りです。

飯能信用金庫 さいたま支店 普通 0134140

社会福祉法人ねがいの杜 理事長 藤本真二

所得控除証明を発行しますので、ご寄付いただく際にはメールにて寄付申込書をください。

info@negainoie.or.jp